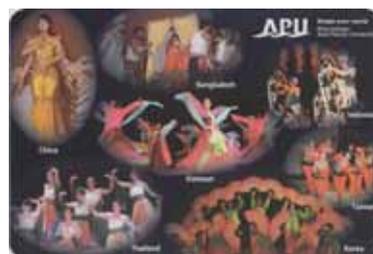


10月APU見学ツアーのご案内

アジア太平洋大学 APU が実施するオープンキャンパスへ附属4高等学校から合同で参加するツアーを、次回は10月に実施します。

参加対象は高校生です



【10月ツアー（10月26日実施分）】

10月25日(金) 大阪南港 18:45 集合（点呼，乗船手続）/結団式・諸注意

大阪南港 19:55 発（フェリー：ツーリストベッド）

10月26日(土) 大分別府港 7:45 着（送迎バス） 10:30 頃着 APU（オープンキャンパス参加）

APU 17:30 発（送迎バス） 大分別府港 19:35 発

（フェリー：ツーリストベッド）

10月27日(日) 大阪南港 7:35 着（解散）



定員

10月ツアー 30名

定員を超えるお申し込みがあった場合は参加できない場合があります。予めご了解ください。

費用

3,000 円（食費など個人的な費用を除く）

立命館慶祥からの参加は，大阪南港までの交通費として2万円を補助

引率

学校法人立命館の担当教員・職員

集合・解散場所

大阪南港コスモフェリーターミナル（ATC のりば）

地下鉄四ツ橋線住之江公園駅または中央線コスモスクエア駅からニュートラム「トレードセンター駅」下車（徒歩約5分）

申込

申込書に必要事項を記入の上，各附属校の担当の先生に提出

申込〆切（厳守）

9月27日(金) 〆切厳守！

（附属校から一貫教育部宛の〆切は10月1日（火）とします（送付先：一貫教育課 杉本宛））

備考

このツアーは、近畿日本ツーリスト大分支店（TEL：097-537-3155）の手配で実施します。申込後に近畿日本ツーリストより申込者本人宛に詳細の連絡が届きます。参加費用の支払手続きについては近畿日本ツーリストからの案内を確認してください。万が一、出発3日前までに何も連絡がない場合は、近畿日本ツーリスト大分支店にお問い合わせ下さい。

お申し込み後のキャンセルはできません。

定員を超えるお申し込みがあった場合は参加できない場合があります。予めご了解ください。

今回が2013年度に実施する最後のオープンキャンパスです。

去る7月15日(月)と8月3日(土)に実施したAPU見学ツアーの様子について、当日引率された先生からレポートが届いています。ぜひ参考にしてください。

【7月15日(月) 第1回ツアー】 立命館高校 和田 篤史 先生 より

去る7月15日に立命館アジア太平洋大学(APU)でオープンキャンパスがありました。この機会を積極的に活かしてもらおうべく、附属校からもツアーを実施することにしています。

今回は、立命館高校から19名、立命館宇治高校から4名が参加しました。APUではどのような取り組みをしているのか、あるいは立命館大学の類似の学部との違いは何か、留学生が半数を占める環境とはどのようなものかといったことを実際に見たり聞いたりしてきたい、との思いをもち大阪南港からフェリーに乗りました。

朝早く別府についたので、オープンキャンパスが始まるまでしばらく大分市内や別府市内をバスで回りました。その後、APUに向かってバスは坂をどんどん登っていきました。



APUに到着し、背後を振り返ると別府市内が一望のもとに広がっていました。雨の日や霧の日も多いのですが、今日は参加したみんなを歓迎するかのような晴れでした。

最初はホールでオープニングです。ニュース風の演出でしたがインタビューとして参加者にもマイクが向けられました。この一つをとってみても、APUではぼやっと見ているだけでは許されなく、積極的に自分から喋っていかない

といけない大学だということがよく分かります。

その後は、各自で興味のある企画を見に行きました。模擬授業あり、学生企画あり、校内見学ツアーありで、どれを見に行こうかと迷っていました。特に、APハウスと呼ばれる学生寮の見学は人気がありました。国際学生とルームシェアをできるということで日本人学生にも人気の高い寮で、ここがあるからAPUに入る価値があるのだ、と言う人もいます。一般入試で入る場合、入試成績とエッセイで入寮選考されますが、附属校出身者は希望すれば必ず入寮できます。寮のスタッフとして活躍する先輩から、このような話や日常生活の話などをたくさん聞きました。

附属校生の特典として、附属校出身の先輩や国際学生の話じっくり聞ける機会があります。今回は、立命館高校出身の先輩3人と、ウズベキスタン出身の国際学生1人に来ていただきました。

その中で、アジア太平洋学部(APS)と立命館大学国際関係学部、国際経営学部(APM)と立命館大学経営学部国際経営学科など、名前が似ている学部・学科で具体的に何が違うのか、という質問が多く出ました。APMと経営学部の違いは、経営学そのものの理論についてはあまり変



わらない。しかし、具体的な事例を検討する際に外国の生の現状を聞けるのはAPMならではのということ

でした。

他にも、本気で留学しようと思えばどれだけ準備を日本でしておいても、なお現地でも準備不足を痛感するし、短期留学ではそれだけで終わってしまう。それゆえ、長期留学をしたほうが良いけど APU であれば留学をしやすいこと。全世界から学生が集まることで一人暮らしやルームシェアをすることが多いが、それによって仲間同士が集まって関係を深めやすいこと。そして、何よりも APU では講義や日常生活の場面で積極的に国際学生に関わることが求められることといった話を聞きました。

最後、バスに乗る我々を見送ってくれた学生スタッフの方々が、正門に並んで手を振ってくれました。バスが出発してから、正門に走って先回りしてくれたのです。このような「熱い」学生が多い APU、機会があればぜひ訪ねてみてほしいです。

【8月3日(土) 第2回ツアー】 立命館慶祥高校 藤田 義信 先生 より

8月3日(土)のAPUオープンキャンパスに参加するため、8月2日夕刻、附属校生徒41名(深草8名、宇治3名、守山25名、慶祥5名)が大阪フェリー港に集合しました。フェリー港には、「九州弾丸ツアー」のキャンペーン広告のポスターやのぼりが、あちらこちらに見られました。大阪から九州への旅行客とともに、私達のツアーも出発しました。



翌朝8月4日(日)早朝、別府港に到着。天気はうす曇でしたが大阪よりもさわやかな気候です。別府港にはAPUのオープンキャンパス参加者専用の観光バスが、ずらりと待機していました。同じフェリーに、オープンキャンパスに参加される一般の方がたくさんいたことにビックリ。APUの人気ぶりが感じられました。私達は一般の参加者とは別に、附属校専用の観光バスが用意されていました。ガイドさんの「おはよう」に元気よく「おはよう!」と答

える附属校生徒たち。朝からみんな元気いっぱいです。

オープンキャンパスの開始時刻までまだ時間があるため、別府周辺の観光をしました。サルで有名な高崎山や別府湾を車窓から眺めたあと、別府温泉・別府八湯のひとつ、明礬(みょうばん)温泉を訪問。ここでは湯の花の収穫小屋を見学しました。続けて別府温泉地獄めぐり。海地獄・坊主地獄など、温泉が湧き出るスポットの観光をしました。

観光後、いよいよAPUへ。そのキャンパスは、まさに「天空のキャンパス」でした。キャンパス中央の噴水広場に立ち、地面を眺めたその先には空!空しか見えません。少し歩いて視点を変えると、別府湾をはるか眼下に臨む山の上にキャンパスがることがわかります。生徒たちもその眺めのよさに、あちらこちらで記念写真を撮っていました。

私達一行はAPUの本部棟で大学の職員の方から訪問歓迎の挨拶を受け、オープンキャンパスのプログラムを受け取りました。今回は、オープニング企画に全員参加した後、自由にプログラムに参加することにしました。「入試説明会」「留学説明会」「APハウス説明会」「英語で模擬授業」「英語の模擬授業」「ライブラリー自由見学」「国際学生との語り場」「キャンパスツアー」「APハウスツアー」などなど、多彩な企画が用意されており、附属校生徒たちも、どの企画に参加しようかと真剣に考えていました。



オープニング企画は、学生による劇「APU LOVE STORY」。日本人女子学生がAPUでの学生生活を通じて、インドネシアの国際学生と友達になり、韓国の国際学生と交際し、様々な習慣や文化の違いを乗り越えて国際結婚する、というストーリー。架空の話でも、ここAPUでは国際色豊かなキャンパスライフが経験できる、という発表でした。

オープニング企画終了後附属校生徒たちは解散し自由行動となりました。私は、まずAPUライブラリーを訪問しました。一般的な図書館は「書架・閲覧室(学習室)・PCコーナー」の作りが多いですが、APUライブラリーはちょっと違って、「静寂の森」と名づけられた閲覧室には、天板の広い多彩な形のテー

ブルが配置され、一般的な学習に十分な場所ですが、「集中の森」と名づけられた別の閲覧室は、1人1つの机がパーティションで区切られた個室になっており、机にはライトも常設されているので、文献を持ち込んで研究することができるようになっていました。その他、200台以上あるPCルームや、グループ学習用のスタディールーム（個室）も6室あります。大学の規模（学生数）に対するライブラリーの大きさとしては十分な規模で、学習支援の環境は恵まれていると感じました。



次に、「留学説明会」に参加してみました。「APUには短期・長期の留学制度があり交換留学制度では200校以上の協定校があります。学生一人当たりのチャンスでは国内のどの大学よりもチャンスが大きいです」と、留学担当の職員の方は説明をされました。また、職員の方は「国内で留学している気分になれるAPUであっても、なぜ留学を勧めるのか。それはマイノリティ（小数派）になる経験が必要だから」「学生のうちに留学することで、業種を特

定しない、生きていく力、を養成したい」という話もされていました。更に留学に必要な語学力について「TOEFLで525～550点」と説明されたときに、（説明に参加していた一般の高校生はTOEFLのことがよくわかっていないので）附属校生からはどよめきが。今学習しているTOEFLが今後の進学先に繋がっていくことが実感できたようでした。

オープンキャンパスの最後に、附属校生たちのために特別企画が用意されていました。

附属校卒業の先輩学生との懇談会です。7～8人のグループに分かれ、先輩との本音トーク。APUを選択したきっかけ、APハウス（寮）での生活、恋愛話、卒業後の進路などなど。ざっくばらんな先輩たちの話に大いに盛り上がっていました。

たくさんの学生スタッフに見送られ、別府港に戻るバスの中では生徒たちも少し疲れた様子でしたが「今度は天空祭にきたい!」「3000円でこれだけのツアーは超安い!」「先輩と仲良くなれた」など、満足した声が聞かれました。1年生にとっては「大学」の雰囲気をするきっかけとなり、2・3年生にとっては具体的な進路先を探求する場として、このツアーが役立ってくれました。



第3回 APU オープンキャンパス 10/26 (土) 開催 専用バス・フェリーチケット 申し込みフォーム

フェリー APUまでの送迎付き	大阪(大阪南港)/ツーリストベット	10/26 実施分	3,000 円
--------------------	-------------------	-----------	---------

【ご注意】

APU 到着は 10:30、出発は 17:30 を予定しています。詳細は後日、近畿日本ツーリストよりご連絡させていただきます。

お申込後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

出発 3 日前までに何も連絡がない場合は近畿日本ツーリスト大分支店 (097-537-3155) までお問い合わせください。

◆**太枠の中をご記入下さい。**

フリガナ				年齢		性別	男・女
氏名							
所属高校	高等学校	科	コース	1年・2年・3年・既卒			
連絡先	〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	TEL (市外局番)	—		
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	FAX (市外局番)	—		
		都道府県					
	E-mail (

連絡先 (携帯) _____

保護者同意書

フリガナ							
氏名							
あなたとの関係							
連絡先	〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	TEL (市外局番)	—		
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	FAX (市外局番)	—		
		都道府県					

申し込み〆切 (厳守) 9月27日(金)

申込先
各附属校の担当の先生

【個人情報のお取り扱いについて】

今回の旅行の手配に際し、ご登録いただいた皆様の個人情報に関しましては、今回の受付の業務上あるいは各種手配に必要な場合のみの利用とし、(株)近畿日本ツーリスト九州 大分支店がその他の目的で利用することはございません。個人情報の管理には万全の体制で臨んでおります。近畿日本ツーリスト(株)の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページをご覧ください。

・近畿日本ツーリスト個人情報保護方針 (<http://www.knt.co.jp/keiki/privacy.html>) をご参照下さい。

個人情報管理者：阿萬 弘 TEL097-537-3155